

真岡市 総合計画画

2020 - 2024

概要版

JUMP UP もおかし
～だれもが“わくわく”するまち～



NO.1 ICHIGO CITY
MOKA

「JUMP UP もおか だれもが“わくわく”するまち」 を目指して



真岡市総合計画2020-2024の概要版を、ここにお届けいたします。

真岡市は、「質・量ともに日本一のいちご」をはじめとしたブランド力の強化と知名度向上を図り、全国に誇れる活力

に満ちた魅力ある都市として発展してまいりました。

「令和」という新たな時代に対応した市政を推進していくため、本計画をまちづくりの指針として、ふるさと真岡市が栃木県をリードし、全国に誇れる都市となるために、市民の皆様との「絆」を大切に、『だれもが“わくわく”するまち』の実現を目指し、市民の皆様と協働によるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

真岡市長 石坂 真一

真岡市 総合計画

未来に向けた まちづくりの設計図

この計画は、これまでのまちづくりの継続性を考慮し、多様化するニーズや社会の変化に対応し、新たな時代に向けて、市民と行政が一体となって実現すべき望ましい将来都市像とそれを実現するための施策の方向を明らかにしたものです。さらに、本市の行財政運営を総合的、計画的に進める指針となるものであり、各種の計画や施策の基本となるものです。



計画の構成・期間

(1) 基本構想

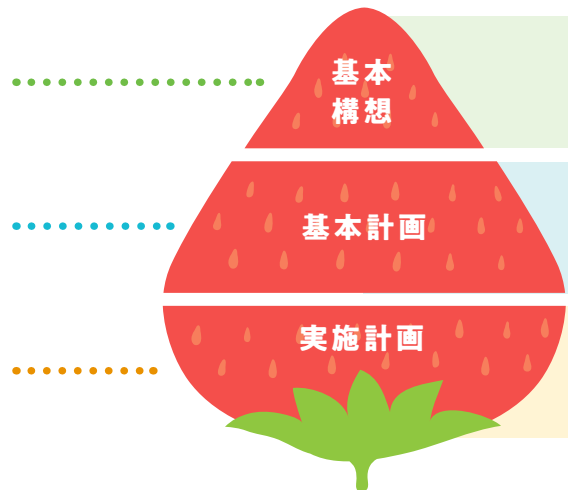
本市のあるべき姿を描き、まちづくりの将来都市像とその実現のための施策の基本となるものです。

(2) 基本計画

基本構想に掲げられた将来都市像を実現するため、主要な施策を明確化したものです。

(3) 実施計画

基本計画で定められた主要施策を具体的に実施していくための事業計画です。



将来都市像

JUMP UP もおか ～だれもが“わくわく”するまち～

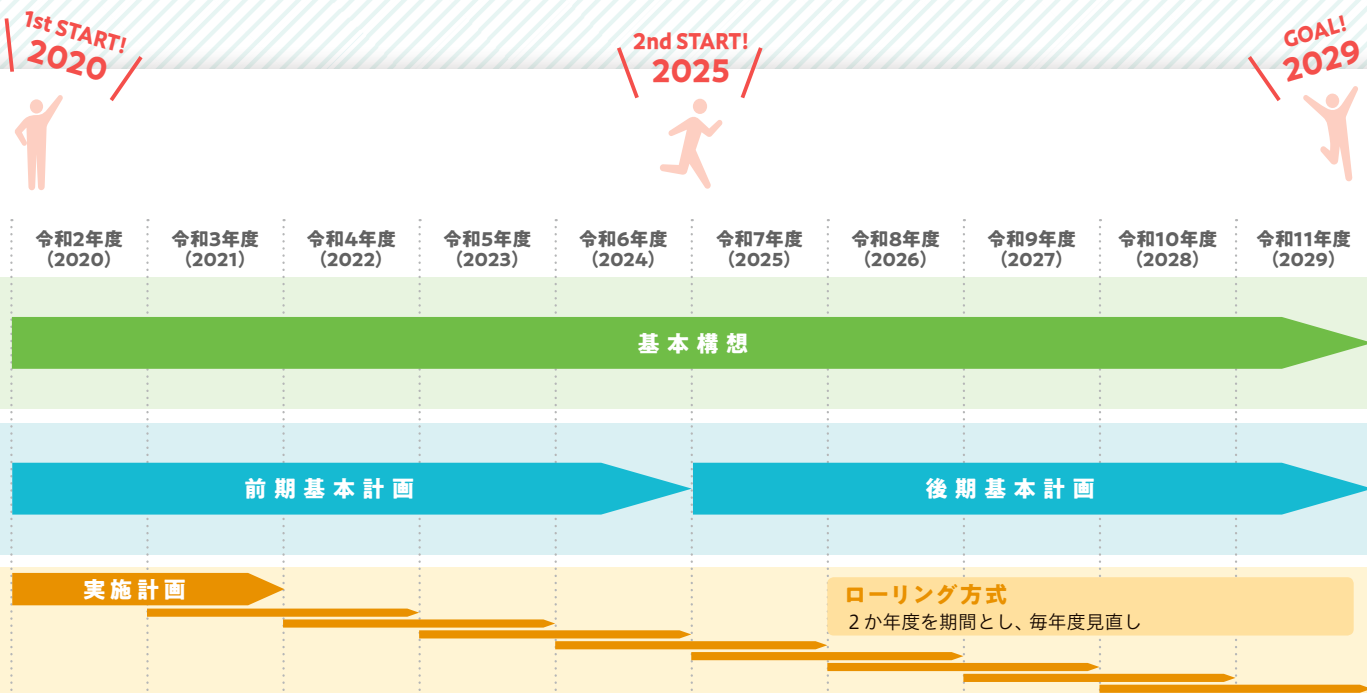
若い世代を中心に、すべての人が
「真岡に住みたい」「真岡で働きたい」「真岡で子育てしたい」と、
もっと思えるまち。
本市の未来を担う「人づくり」のために、
「楽しみ」、「可能性」を感じ、
“わくわく”とした気持ちで未来を描けるまちを目指します。

将来人口

2015年
(平成27年)
79,539人

2030年
(令和12年)
76,475人

本市の将来人口は、市独自推計によると、2030年(令和12年)には、76,475人まで減少すると予測されます。また、年齢3区分別人口では、年少人口が9,514人(12.4%)、生産年齢人口が43,816人(57.3%)、高齢者人口が23,145人(30.3%)と予測されます。





Project 1 こどもの元気な成長プロジェクト

確かな学力の育成等教育環境の充実により、たくましい「もおっ子」の育成に取り組みます。

主な取組

- 学力を県内トップレベルへ引き上げる取組
- ICT(情報通信技術)を活用した学校教育の推進
- 義務教育課程における英語教育、国際理解教育の充実
- 子どもの体力向上のための取組
- 安全でおいしい給食を提供するための施設整備

Project 2 若い世代・子育て応援プロジェクト

若者が魅力を感じ、ファミリー世帯が住みやすいと思うまちの実現に向け、若者や女性の仕事をつくり、子育て支援の充実を図ります。

主な取組

- 雇用の創出と本市へのUIJターンの促進
- 女性がいきいきと活躍できる環境づくりの取組
- 子育て支援センター・図書館等の機能移転を含む子育て支援拠点として「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能を併せ持つ複合交流拠点の整備



まちづ 基本 ～重点プロ



Project 3 いつまでも安心な暮らしの実現プロジェクト

高齢者や障がいのある人にも優しい、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

主な取組

- 広域連携による利便性の高い公共交通ネットワークの構築
- 健康増進施設での健康づくり環境の充実
- 地域住民、事業者等が参画し、人と人、人と資源が世代を超えてつながる社会の実現に向けた包括的支援体制の整備

Project 4 とちぎをリードする産業プロジェクト

東京圏を意識した戦略的な園芸農業の推進や、魅力ある産業の創出により、若い世代を呼び込み、経済活動を県内トップクラスに伸ばす取組を推進します。

主な取組

- いちごやトマト、なす、にら、たまねぎ等の生産拡大による園芸立国もおかの推進
- ICTを活用したスマート農業の推進
- いちご日本一のまち真岡のブランド力の向上
- 担い手の育成・確保のため生産者等の運営による観光いちご園の整備
- チャレンジファーム事業による就農者の確保
- 真岡市中小企業・小規模企業振興計画に基づく既存企業や地場企業の定着及び競争力強化の支援
- 新たな産業団地の整備による企業誘致の推進



くりの 戦略 プロジェクト～

Project 5 まちの活力再生・魅力創出プロジェクト

若い世代が魅力を感じ、担い手となって未来を共に描いていけるような新たなもおかの元気を創出します。

主な取組

- 中心市街地リノベーションの推進による魅力ある市街地の創出
- 「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能が相互に連携する複合交流拠点の整備
- いちごやSL等の各種地域資源をつないだ真岡ブランドづくりの推進
- フィルムコミッションによる観光施設と文化施設の情報発信
- 真岡鐵道沿線市町との広域観光の振興
- 井頭公園を核とした観光ゾーンの整備
- ホームページ、アプリによる市政情報発信の充実
- コミュニティFMによる地域活性化と防災力の向上
- スポーツによるもおかの活力及び魅力の創出
- スポーツ施設の利活用による誘客の強化

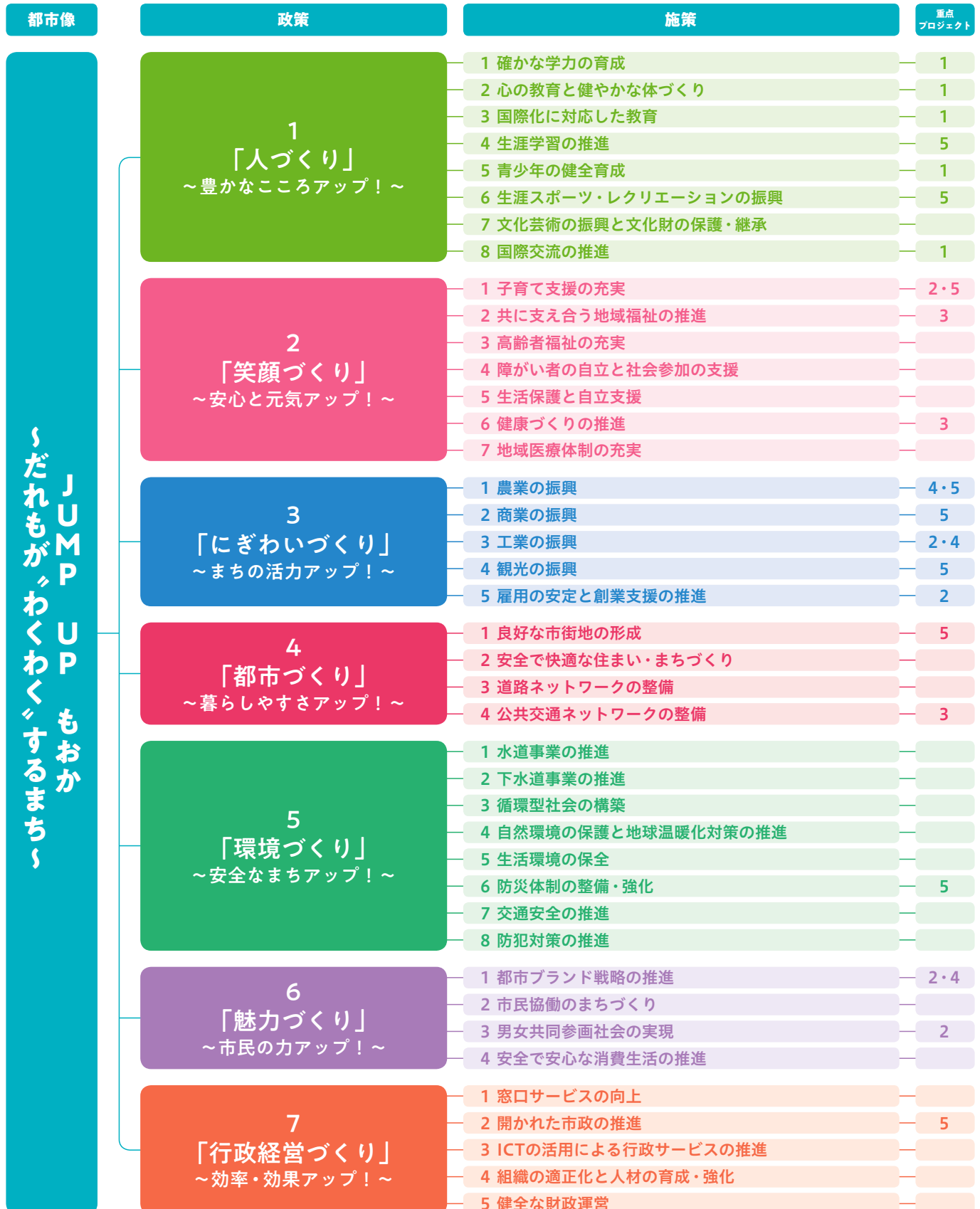


まちづくりの 基本戦略の 方向性

ふるさと「真岡市」が、栃木県をリードし、全国に誇れる都市となるためには、市民との「絆」を大切にして、対話・協働・連携を深めながら「選ばれる都市もおか」を実現することが重要であり、そのために、本市の将来を見据えた5つのプロジェクトをまちづくりの基本戦略と位置付け、リーディングプロジェクト(先導的、戦略的、横断的な取組)として重点的に取り組みます。

施策の体系

将来都市像を実現するために、まちづくりの7つの政策を柱とし、41の施策を基本計画と掲げて展開していきます。



政策 1 「人づくり」 ～豊かなこころアップ!～

将来を担う子どもたちに確かな学力を身に付けさせるとともに、思いやりの心や豊かな情操を育み、心身共に健康でたくましいもおかっ子の育成に努めます。また、だれもが心豊かに生きがいを持って暮らすために、学習環境やスポーツ・レクリエーション施設の整備を推進し、学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくりに努めます。



確かな学力の育成

- 真岡市総合学力調査の実施による学力の定着度の把握、分析と授業改善
- ICT機器を活用した授業による児童生徒の学習への興味・関心の向上
- プログラミング教育の指導法の研究

心の教育と健やかな体づくり

- 教育相談員やスクールソーシャルワーカーの配置
- 「真岡市体力向上プログラム」の各学校における実践
- 学校給食センターの整備による安全でおいしい給食の提供

国際化に対応した教育

- 外国人英語指導員やICT機器を活用した英語教育の充実
- 小学校における英語専科教員の配置

教育国際交流



生涯学習の推進

- 生涯学習活動の充実と市民の継続的な学習への支援
- 生涯学習拠点（図書館）として、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能を併せ持つ複合交流拠点の整備

育成会活動「地区リーダーキャンプ」



青少年の健全育成

- 高校生の海外留学支援による次世代のグローバルな人材育成の推進

生涯スポーツ・レクリエーションの振興

- 子どもから高齢者まで楽しめるスポーツ教室の開催
- 総合運動公園への競技施設整備

文化芸術の振興と文化財の保護・継承

- 文化祭、芸術祭等の文化活動の推進及び「真岡」の文化芸術の市内外への発信
- 有形文化財における損壊防止や修復等の保護対策の充実

国際交流の推進

- 国際交流を担う人材の育成

桜町陣屋跡



政策 2 「笑顔づくり」 ～安心と元気アップ!～

市民が健康で安心して暮らすことができる地域社会の実現に向け、保健・医療・福祉の連携の充実強化や、市民が共に支え合う地域づくりに努めます。また、子どもたちが健やかに育つことができ、高齢者が生きがいを持ち、だれもが将来に希望を持って暮らすことができる思いやりと安心に満ちたまちづくりに努めます。



赤ちゃん教室



子育て支援の充実

- 赤ちゃん誕生祝金やこども医療費助成等の子育てに関わる経済的負担の軽減
- 子育てモバイルサイト等の子育てに関する情報提供の充実
- 保育士対策事業や病児・病後児保育事業
- 公立保育所の再配置等の保育の質と量の確保
- 妊産婦・乳幼児と母親への切れ目のない保健対策の充実
- 子ども家庭総合支援拠点の整備等

共に支え合う地域福祉の推進

- 生活支援体制整備事業による地域づくりの推進

高齢者福祉の充実

- 介護予防教室、地域のミニデイホームの充実等、高齢者の居場所づくりの整備
- 権利擁護支援、地域包括支援センターや施設整備支援等介護保険事業の充実
- 地域による見守り活動の体制づくりや緊急通報システムの普及促進

シルバーサロン活動



地域での農作業風景



障がい者の自立と社会参加の支援

- 障がい者が社会参加できるよう必要な障がい福祉サービス等の確保

生活保護と自立支援

- 生活困窮者自立支援制度を活用した支援の強化

健康づくりの推進

- 妊娠・乳幼児期から高齢期までの健康づくりの推進

地域医療体制の充実

- かかりつけ医を持つことの普及啓発

休日夜間急患診療所と芳賀赤十字病院



政策 3 「にぎわいづくり」 ～まちの活力アップ!～

農業、商業、工業、観光等、各種産業のバランスのとれた発展を図るとともに、首都圏への地理的優位性や物流の基幹となる北関東自動車道や国道294号、国道408号鬼怒テクノ通りを活かした産業基盤の整備を図ります。また、日本一の生産量・販売額を誇るいちごをはじめ、SLや真岡木綿を活かした観光資源の活用により、地域と産業が調和する活力あるまちづくりに努めます。

農業の振興

- 認定農業者や集落営農組織等担い手の育成
- 次代を担う新規就農者の育成・確保
- スマート農業の導入促進
- いちごを核とした都市と農村との交流促進

商業の振興

- 商業後継者や創業者の育成・支援、及び中心市街地の空き店舗を活用した創業者支援
- 中心市街地活性化のための拠点施設の整備

工業の振興

- 既存企業や地場企業を対象とした各種補助金による市内定着及び競争力強化の支援
- 新たな産業団地の整備推進
- 真岡市中小企業・小規模企業振興計画の推進

観光の振興

- イベントや観光資源等を活用した誘客促進
- SLキューロク館、久保記念観光文化交流館、真岡木綿会館等の観光資源の活用

真岡の一万本桜まつり



自動走行トラクターを活用するスマート農業



賑わい創出イベント(天の織姫市)



雇用の安定と創業支援の推進

- 企業誘致の推進や合同就職面接会の開催による雇用機会の創出
- UIターン就業者に対する助成による地元雇用の支援及び移住定住の促進
- 真岡市創業支援事業計画に基づく各種支援による創業者の育成

政策 4 「都市づくり」 ～暮らしやすさアップ!～

自然環境に配慮し、良好な市街地の形成と充実、安全安心に暮らせるまちづくりを推進するとともに、公共交通の整備や幹線道路網と生活道路の整備を図り、子どもから高齢者まで、すべての市民一人一人が暮らしやすさを実感できるまちづくりに努めます。



良好な市街地の形成

- 地域の特色を活かしたコンパクトなまちづくりの推進
- 中心市街地のリノベーション事業の推進

安全で快適な住まい・まちづくり

- 土地区画整理事業等の基盤整備事業や道路整備による良好で安定した住宅地の供給
- 空き家バンク等による空き家の利活用の促進

良好な居住環境の整備



道路ネットワークの整備

- 幹線道路を軸とした計画的かつ体系的な道路ネットワークの構築

2022年開通予定のLRT



公共交通ネットワークの整備

- いちごタクシーやいちごバスの利便性の向上
- 市民のニーズを踏まえたいちごタクシーといちごバスの運行範囲の見直し
- 公共交通機関の相互連携による広域的な公共交通ネットワークの構築

土地区画整理事業と地区計画により整備された住宅街



整備された幹線市道



政策 5 「環境づくり」 ～安全なまちアップ!～

豊かな自然と共生した生活環境の中で安心して暮らすことができるよう、地球が持つ自然資源を有効に活用し、自然と潤いがある快適なまちづくりに努めます。また、市民の生命や財産を守るため、自然災害への危機管理意識の高揚を図り、交通安全対策、防犯対策の推進による安全安心なまちづくりに努めます。

芳賀地区エコステーション



水道事業の推進

- 水道施設の整備及び維持管理の推進
- 経営の効率化と健全化の推進

下水道事業の推進

- 浄化槽設置補助金等による合併浄化槽への設置替えの推進
- 公共下水道汚水管渠の整備促進

循環型社会の構築

- ごみの発生抑制と減量化の推進

自然環境の保護と地球温暖化対策の推進

- 環境学習や環境保全活動を推進
- スマートエネルギーの推進や地球温暖化対策等の啓発

生活環境の保全

- 公共下水道、農業集落排水事業や合併浄化槽の普及促進による水質汚濁の防止

防災体制の整備・強化

- 災害時の応急活動体制の充実
- コミュニティFMを活用した防災ラジオの整備

交通安全の推進

- 効果的な交通安全施設や道路等交通環境の整備

防犯対策の推進

- 防犯灯や防犯カメラの適正な設置と運用

栃木県・真岡市総合防災訓練



スクールガード



政策 6 「魅力づくり」 ～市民の力アップ!～

市民と行政がそれぞれの役割を担い、一体となって、市民だれもが共に生きる喜びを感じられるよう、協働のまちづくりに努めます。また、様々な媒体により市内外に本市の持つ魅力を積極的に情報発信し、本市のイメージを高め、市民が愛着と誇りを持てるまちづくりに努めます。



都市ブランド戦略の推進

- 日本一のいちごを核とした積極的なシティプロモーションの推進
- 移住定住の促進
- シビックプライドの醸成

市民協働のまちづくり

- 自治会活動の積極的な周知及び加入促進に向けた実効性ある取組の推進
- 市民等が積極的にまちづくり事業へ参画・協働する機会の充実

男女共同参画社会の実現

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- 女性が活躍しやすい環境づくりやキャリア形成の推進

安全で安心な消費生活の推進

- 消費生活に関する啓発活動の推進と迅速な情報の提供

政策 7 「行政経営づくり」 ～効率・効果アップ!～

少子高齢社会の急速な進行等により、国や地方の財政は今後ますます厳しくなることが予想されるため、行政評価システム等を活用し、健全な財政運営を図ります。また、ICTを活用した行政サービスの推進や効率的で市民にわかりやすい行政運営に努めます。



窓口サービスの向上

- 窓口延長業務、休日窓口の利用促進
- マイナンバーカードを活用したサービスの拡充

開かれた市政の推進

- ホームページ、SNSアプリ、コミュニティ FM等を活用した積極的な情報発信

ICTの活用による行政サービスの推進

- AI、RPAの導入による、職員の生産性向上及び市民サービスの質の向上
- 情報セキュリティ対策の強化

組織の適正化と人材の育成・強化

- 管理監督者への積極的な登用等による女性職員の活躍推進

健全な財政運営

- 事業の「選択と集中」の徹底と事務事業経費の節減
- 大規模な公共施設整備事業における民間の資金やノウハウ活用の検討